

都筑区教育研究会

1 研究主題 (テーマ)

「確かな学力を身に付け、豊かな人間性を育む教育活動の推進」

～教育課程の創造・実践のなかで、授業力の向上と研究交流の広がりを目指す～

2 研究主題について

都筑区小学校教育研究会では、市の研究主題を受け、子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり、豊かなかかわりの中での個に応じた指導と評価等について研究を進めてきた。子どもたちの生きる力を育むために、授業力の向上と教職員間の研究交流が広がることを目指して本主題を設定した。

3 研究方法

コロナ禍にあって、研究会の開催方法を工夫することができた。今までと同じ集合という形態の研究会ではなくZoomを使ったオンライン研究会を開催するところも増えつつある。コロナによってオンライン化が一気に進んだとも言える。オンラインにすることによって、移動時間がいらなくなるという利点もあった。今後も必要に応じた開催方法を工夫できるようになるとよい。

4 年間活動(事業)報告

(1) 都筑区小学校研究会総会(書面による開催)

8月25日(月) 3月8日(月)

(2) 各研究部活動

◇各研究部 研究会 (7月～2月 計8回)

◇各研究部による児童の活動を伴う事業

・国語部:区児童書写展(今年度は各校内での展示)

・図工部:区夢いっぱい巡回展

・体育部:区球技大会(今年度は各校内での実施)

・特別支援教育部:個別支援学級合同学習発表会(8校が近隣校でのDVD交換等による交流を実施)

5 研究の成果と課題

(1) 不測の事態の中で

4月5月が臨時休業となる中で、どの学校も児童への課題作成と配付を迫られた。校長会・区小教研を中心として、各校で作成した課題プリント等を共有化し、どの学校でも使えるようにできたことは大変有効だった。課題作成のための負担軽減というだけでなく、各校がどのような課題を作成しているのかを目の当たりにすることによって教員が刺激を受け、教材研究等の意欲喚起につながった。

(2) 研究の広がり深まり

オンライン研究会等を開催していく中で、教員のICTに関するスキルの獲得が見られ、今後の情報教育に役立てていくことができると思う。研究会での提案資料も事前にデータで送る等を行うことにより、会の進行を効率化することができることが実感できた。コロナ禍にあって、今まで当たり前のように行われていた研究会の事業、行事、会のもち方を見直すことになり、本当に必要なものは何かを検討し、精選する機会となったのは、よかったと思う。今後、実技研修のような集合形態をとって行ったほうがよいと思われるものをどのようにしていくか、状況を見ながら検討していきたい。

(3) 人材育成

研究会が教員にとって各領域、教科について知る貴重な研修の場であり、人材育成に欠かせないということを再認識した。部長をはじめとする役員役割は大きく、経験が豊かな教員が役員になると研究会が充実し、人材育成につながっていく。役割や取組を明文化して、誰でも役員ができるようにしつつ、これまで積み重ねてきた研究が引き継がれるようにしていきたい。